

Ⅰ．事業方針

公益財団法人岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団は、岡垣サンリーアイの指定管理者として、今年度が五年間の最終年度となります。岡垣サンリーアイの設置目的、生涯学習の拠点施設等の町の理念を踏まえ、指定管理協定に基づき管理運営に努めて参ります。

前年度は、利用者数が6月に500万人に到達、また、年間28万人超えも連続で達成しました。今年度も、賑わいの創出、元気のある文化会館として、利用者に、「時間と空間」、「場と機会」を提供し、地域活性化の推進、まちづくりの推進、コミュニティの振興に寄与できるように、人づくり事業を柱として、複合施設の利点を生かしながら、様々な事業の展開を図ります。

文化は、地域の人々が気持ちよく、生きがいを持って暮らすために必要なものです。人々の価値観は、「ものの豊かさ」から「こころの豊かさ」へ、効率性の追求から人間的なぬくもりの尊重へと大きく変化していると言われています。

このような時代だからこそ、文化会館の使命、役割の重要性にスポットがあたり、財団として岡垣サンリーアイの存在意義を人材育成事業などを通して更に発信し、地域への文化的貢献に努めなければなりません。

自主事業では、事業検証会議等の結果を踏まえ、2か年計画の人材育成事業「アーツ・スポーツカレッジ」を昨年度より開催しています。新たな文化活動者の発掘や育成を行いながら、文化のすそ野を広げることが目的であり、約70名の参加がありました。今年度は、2年目に当たり「カレッジ」修了生に対して「ステップアップ講座（仮）」を実施します。企画の立案・実施を講座として学び、修了生が実体験することによって、今後、岡垣サンリーアイ事業や地域の文化活動で活躍できる人材として成長していただけるものと考えます。そして、新たな人材と現在の様々な実行委員会等との連携を深めながら、岡垣サンリーアイの協働の文化づくりを進めてまいります。

また、従来から取り組んでいる事業においては、利用者に幅広く岡垣サンリーアイを楽しんでいただくため、評価頂いている文化講演会などの鑑賞事業、参加事業及びスポーツ事業等を継続して行います。昨年度よりスタートした「こどもキャンプ」、「新聞記者が語る報道最前線」、平成24年度から実施している「福岡教育大学との連携による音楽事業」等の事業にも取り組みます。

全ての事業においては、「住民が育つ・住民が行う・住民が鑑賞する。そして住民が感動する。」を基本理念として、実施してまいります。

文化講座では、近年、団塊世代の退職がピークを迎えているため、新たに何かを始めようという方々を惹きつける、趣味や運動系の新規講座を企画し、セカンドライフの充実を提案します。更に、現在、受講者数の割合が低い子育て中の若い主婦

層に向けた、料理や食育・育児に役立つ講座を企画します。

また、子どもや若者向けには、学校教育にも取り入れられているダンス系の講座を企画します。レギュラー講座においては、従来、紙媒体を利用した広報を行ってききましたが、特に受講者が減少している講座において、ホームページや機関紙に特集として掲載するとともに、映像を利用して講座の紹介を行うなど、周知の方法をより充実させることで受講者数 750 人/月を目指します。

図書館は、人が自ら学び、必要な情報を得ることができ、成長と満足を得ていただくための施設です。

特集コーナー、資料の展示、室内レイアウトの工夫で魅力ある図書館を目指し、情報プラザ等町内各施設への団体貸出の連携を強化することで、地域住民が気軽に本を手にとることのできる環境を広げます。貸出者数の目標を 6 万人とし、住民一人当たりの年間貸出冊数 6.4 冊を目指します。

また、図書館サービスの活性化のため、小ホールや展示コーナー・ギャラリー等を利用した蔵書に関連するテーマ別の展示会等の活動の場を、図書支援ボランティアや「カレッジ」修了生に対して提案します。

読書案内としての「図書館だより」については、利用者にとって身近で親しみやすい広報づくりを行います。子どもの読書離れを防ぎ、子どもの読書活動を盛んにするための「図書館まつり」を中心として、子ども向けの春休みや冬休み期間を利用した事業を企画・実施します。

施設の管理については、利用者の立場に立った丁寧な接客・応対を行うように心がけ、安心・安全・快適な施設をご利用いただけるよう、施設・設備等の点検と適正な維持管理に努めます。

更に、計画的な施設・機械設備等の大規模な整備によって施設の長寿命化が図れるよう、計画的改修工事について町と協議します。

運営面においては、施設の利用促進を図ることを目的に、スポーツ・イベント等の利用者の情報を掲載した「機関紙番外編（仮）」を作成し、情報の発信に努め、「カレッジ」修了生には実践の場として提案します。また、貸館事業については、大口利用者や新規利用者等へのフォロー案内を行うなど、利用者のリピーター率を高める取組みを行います。今年度もより一層お客様に親しまれる施設となるよう努めます。

II. 事業計画

1. 自主事業

(自主事業総括)

平成27年度は、音楽32、演劇3、演芸2、講演会8、映画1、美術展4、スポーツ5、その他5、合計60事業を実施します。

鑑賞事業は、「いっこく堂ボイスリεύジョン with マギー司郎」や「大道芸バラエティーショーお笑い玉手箱〜ゆかいな仲間たち〜（仮称）」を計画しています。また、各種の補助金事業等に積極的に申請し、実施を目指します。平成24年度よりスタートした「福岡教育大学の教員・学生によるコンサート」、平成26年度よりスタートした「新聞記者が語る報道最前線」は、今年度も継続して実施します。

なお、チケット販売においては各事業の目標を明確にし、達成に向けた施策の立案・実施を行います。特に各種団体への営業を強化し、職員全員が一丸となって取り組みます。

参加事業は、平成26年度に実施した「アーツ・スポーツカレッジ」の修了者がイベントの企画・立案・実施を実体験する講座を開催。講座修了生の居場所を明確化し、協働の文化・スポーツづくりを推進します。平成26年度よりスタートした「サンリーアイこどもキャンプ」は今年度も継続して実施します。

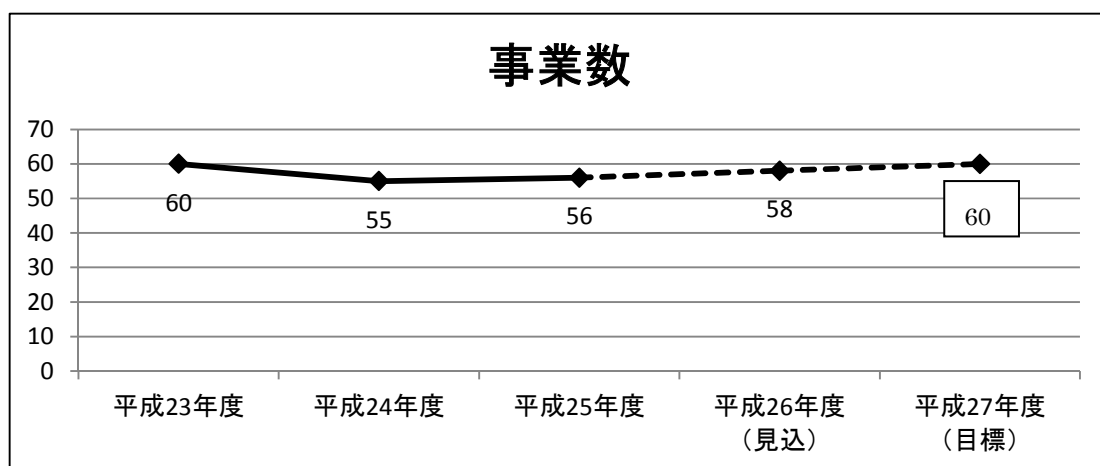
スポーツ事業は、「アジアバドミントンジュニアクラブ選手権 in 岡垣」などのスポーツ大会を実施します。

【事業数推移】

(単位：回数)

事業ジャンル	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (見込)	平成27年度 (目標)
音楽	34	32	32	32	32
演劇	4	4	4	3	3
演芸	1	2	0	0	2
講演会	8	8	9	8	8
映画	2	1	1	1	1
美術展	2	3	5	4	4
スポーツ	9	5	5	5	5
その他	0	0	0	5	5
合計	60	55	56	58	60

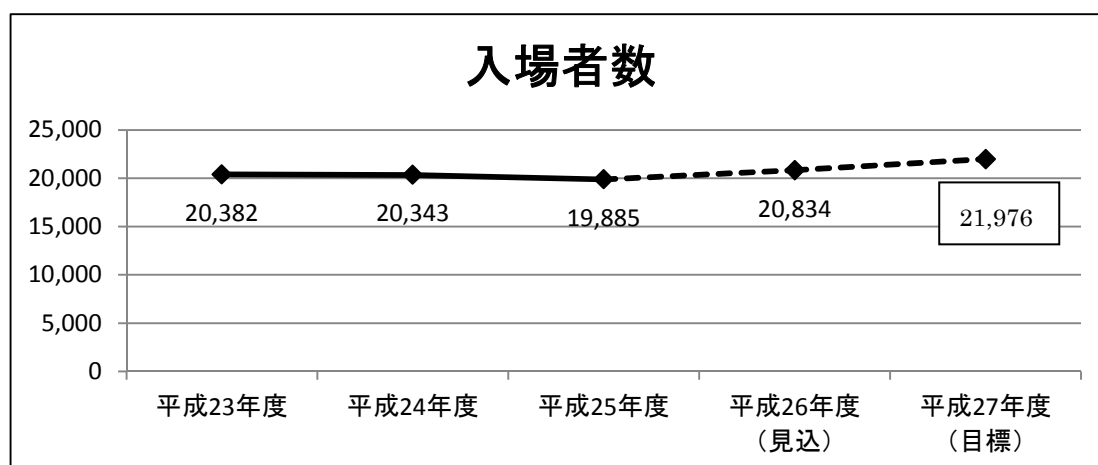
※平成27年度事業ジャンルのその他は、「サンリーアイこどもキャンプ2」、サンリーアイ アーツスポーツカレッジ「ステップアップ講座（仮）」、「新聞記者が語る報道最前線（全3回）」です。



【入場者数推移】

(単位：人)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (見込)	平成 27 年度 (目標)
入場者数	20,382	20,343	19,885	20,834	21,976



①鑑賞事業（公益目的事業１）

著名な講師による講演会「いちご塾」や一流のアーティストによる質の高い音楽事業「カンタービレ・サロン・コンサート」などの継続事業のほか、集客力のある「いっこく堂ボイスイリュージョン with マギー司郎」など、合計 9 件の文化・芸術イベントを低廉な入場料で実施し、幅広い年齢層の多くの地域住民に鑑賞の機会を提供します。

事業名	開催日・会場・料金	内容	目標数
カンタービレ・サロン・コンサート 19 (全 3 回)	平成 27 年 4 月 11 日 (土) 平成 27 年 5 月 9 日 (土) 平成 27 年 6 月 13 日 (土) 19 時開演 小ホール 5,000 円 (会員券)	九州に縁のあるアーティストを中心に、国内外で活躍中の音楽家を招聘して小ホールで開催するアットホームなコンサート。	300 人 (100 席 ×100% ×3 回)
福岡教育大学の 教員・学生による コンサート	平成 27 年 開催日未定 14 時開演 小ホール 一般：1,000 円 (当日 200 円 UP) 学生： 500 円 (〃)	「文化の薫るまち」を岡垣サンリーアイより発信することを目的とした、気軽にクラシック音楽を楽しむことができるコンサート。福岡教育大学の協力により開催。	100 人 (100 席 ×100%)
いっこく堂 ボイスイリュージョン with マギー司郎	平成 27 年 11 月 15 日 (日) 14 時開演 ハミングホール 3,000 円 (当日 500 円 UP)	腹話術のイメージを覆し、新しい分野を開拓したいっこく堂のボイスイリュージョンとおしゃべりマジシャン・マギー司郎との二本立て。舞台にスクリーンを設置し、後方座席からでも楽しめる。	591 人
ふれあいコンサート in おかがき (共催事業)	平成 27 年 開催日未定 18 時 30 分開演 ハミングホール 無料	航空自衛隊春日基地を本拠地として、九州一円はもとより、中国・四国地方を含む広範囲で活動している西部航空音楽隊による演奏会。	591 人
劇団飛行船	平成 28 年 2 月 20 日 (土) ① 10 時 30 分開演 ② 13 時 30 分開演 ハミングホール 一般：1,500 円 (当日 300 円 UP) 団体：1,300 円 (当日 300 円 UP)	マスク人形に扮した出演者が華麗な仕掛けの中で、きらめく踊りと歌を繰り広げるマスクプレイミュージカル。	1,063 人 (591 席 ×90% ×2 回)

事業名	開催日・会場・料金	内容	目標数
いちご塾 文化講演会 (全8回)	平成27年4月25日(土) ・5月23日(土)・6月27日(土) ・7月25日(土)・8月22日(土) ・9月26日(土)・10月24日(土) ・11月28日(土) 18時45分 開演 ハミングホール 10,000円(会員券)	各ジャンルで活躍中の著名人を講師として招聘。 講演会の前には地域の伝統・文化を紹介する「プラザ・風と波」を開催し地域住民に発表の場を提供する。	4,728人 (591席 ×100% ×8回)
サントリー名画シアター (共催事業)	平成27年 時期未定 ①10時②13時 ハミングホール 一般:1,000円 (当日200円UP)	子供向け・ファミリー向けの映画を配給会社との共催で実施する。	400人 (200人 ×2回上映)
新聞記者が語る 報道最前線 (全3回) (人材育成連携事業)	平成27年 時期未定 14時開演 小ホール 一般:800円(前売) (当日200円UP)	知識も経験も豊富な報道関係者を講師とした講演会。報道の最前線で取材する記者たちが変動する現代社会のテーマについて、鋭くわかりやすく解説する。	300人 (100席 ×100% ×3回)
大道芸バラエティショー お笑い玉手箱 ～ゆかいな仲間たち～ (仮称)	平成28年3月13日(日) 昼公演 ハミングホール 無料	岡垣在住の伊賀氏を中心とした大道芸人たちが全国から集結し、親子で楽しめる、猿回しや、南京玉簾など7種目を演じる。	400人 (591席 ×66%)
(計20回)		計) 9件	8,473人

②参加事業（公益目的事業2）

岡垣サンリーアイの事業理念「住民が育つ・住民が行う・住民が鑑賞する。そして住民が感動する。」に基づき、「アーツ・スポーツカレッジ」修了生の実体験講座など、地域住民に発表の場を提供し、地域文化の活性化と文化レベル向上を目的とする事業を合計11件実施します。

事業名	開催日・会場・料金	内容	目標数
ぴあのリレーマラソン 13	平成27年7月18日(土) 19日(日) ①10時②13時③15時 ハミングホール 無料	地域のピアノ愛好者に音楽的に 上質な環境で演奏する機会を提 供することを目的としたコンサ ート。 出演者 180組予定	900人 (150人 ×3部 ×2日)
いちご畑のコンサート (計24回)	平成27年4月 ～平成28年3月 18時30分開演 エントランスホール 無料	エントランスホールにて毎月2回地域の音 楽家たちによるコンサートを開催。 (毎月第2・3金曜日)	720人 (30人× 24回)
こどももおとなも ゆめフェスタ ・サンリーアイ	平成27年12月20日(日) 14時開演 ハミングホール 500円	イベント企画集団「さんりん舎」 のメンバーによる企画、立案、実 施事業。	400人 (591席 ×66%)
岡垣町民吹奏楽団 第16回定期演奏会 (共催事業)	平成27年6月21日(日) 14時開演 ハミングホール 300円	岡垣サンリーアイを活動拠点に 音楽活動を通じて地域文化の高 揚等に貢献してきた、町民吹奏楽 団の定期演奏会。共催により、同 団体の新たな活動を促し、地域音 楽文化の更なる普及を図る。	531人 (591席 ×90%)
第14回 岡垣ふるさと物語 ～民話の劇とかたり～	平成27年7月5日(日) 14時開演 ハミングホール 500円	イベント企画集団「さんりん舎」 のメンバーによる企画、立案、実 施事業。	400人 (591席 ×66%)
岡垣町核兵器廃絶 平和の町宣言事業	平成27年8月 日(日) 13時45分開演 ハミングホール 無料	岡垣町の核兵器廃絶平和の町宣 言にもとづき、平和について考 え、平和を願う機会を持つこと で、核兵器廃絶につながることを 目的に岡垣町より企画委託を受 けて実施する事業。	591人 (591席 ×100%)

事業名	開催日・会場・料金	内容	目標数
第18回 おはようスケッチ大会 (共催事業)	平成27年7月20日(日)	子どもたちがふるさとの風景をいつまでも心の中に持ち続けるように、スケッチを通じて、子どもたちの地域への関心を高め、豊かな心を育むことを目的に開催するスケッチ大会。	スケッチ 150人 観覧 350人
教師による美術展 (共催事業) (年2回実施)	平成27年 開催日未定 展示コーナー・ギャラリー 無料	北筑豊地区とその周辺で美術教育に携わる教師たちの作品の美術展。福岡教育大学美術科の学生制作による作品も展示。	2,000人 (100人 ×10日 ×2回)
第14回岡垣アート フェスティバル2015 (共催事業)	平成27年9月11日(金) ～21日(月) 展示コーナー・ギャラリー 無料	岡垣町を中心とした地元芸術家たちによる美術品の作品展示。	1,000人 (100人 ×10日)
サンリーアイ アーツ・スポーツ カレッジ 「ステップアップ講座(仮)」 (人材育成講座)	平成27年4月 ～平成28年3月	平成26年度に実施したアーツ・スポーツカレッジの修了生を対象として行なう実体験講座。アーツ・スポーツ・メディアコースの内容を活かしたイベントの企画・立案・実施を行う。	
	(仮) バレエコンサート & ミニオーケストラ 平成27年12月13日(日) 14時開演 ハミングホール 500円(当日100円UP)	バレエコンサートと小編成のオーケストラのコラボレーション。地域オーケストラの生演奏をバックにバレリーナが踊る。	531人 (591席 ×90%)
サンリーアイ こどもキャンプ2 (人材育成連携事業)	平成27年8月19日(水) ・20日(木) 参加費2,500円	休館日を利用して、約30人の小学3～6年生が文化・スポーツイベントや肝だめし等を体験し、宿泊する。子ども達が岡垣サンリーアイに親しみ、文化スポーツ活動のきっかけを創る未来への懸け橋事業。	30人
(計35回)		計) 11件	7,603人

③スポーツ事業（公益目的事業５）

地域におけるスポーツ振興と、スポーツを通じた地域住民の心身の健康づくりを目的に、「アジアバドミントンジュニアクラブ選手権 in 岡垣」などの各種スポーツ大会に参加する機会を提供する事業を４件実施します。

事業名	開催日・会場・料金	内容	目標数
第１６回 アジアバドミントンジュニアクラブ選手権 in 岡垣	平成２７年１０月１０日（土） ～１２日（月） ウェーブアリーナ 小低４,０００円小高８,０００円 中男女１０,０００円（参加費）	地域住民が生涯スポーツとしてバドミントンを取り入れるきっかけづくり及びジュニアの育成と交流を目的に、全国各地の精鋭ジュニアクラブが集い競い合う、選手権大会。	３,０００人 （１,０００人×３日）
第３５回 福岡県空手道選手権大会 第３４回 福岡県少年空手道選手権大会（共催事業）	平成２７年４月１９日（日） ウェーブアリーナ 無料	福岡県内の小中学生を対象とした空手道選手権大会。	１,５００人
２０１５ サンリーアイオープン ソフトバレーボール 夏季大会・冬季大会 （共催事業）	平成２７年９月６日（日） 平成２７年１２月１３日（日） ウェーブアリーナ ３,０００円（参加費）	近郊エリアのソフトバレーボール愛好者を対象にした地域密着型で交流性の高い大会。夏季と冬季の２回開催。	５００人 （２５０人×２回）
ときめきカップ IN FUKUOKA ２０１５	平成２７年９月１９日（土） ～２１日（月） ウェーブアリーナ １０,０００円（参加費）	西日本地区を対象とした小学生のバスケット大会。	９００人 （３００人×３日）
（計５回）			計）４件 ５,９００人

④サンリーアイ倶楽部（収益事業等１）

【数値目標 ２００人】

目標達成のために以下の対策に取り組めます。

- （１）各企業への PR 活動
- （２）プラスフォーラインの促進
（中間・直方・新宮）
- （３）前会員への DM 送付
- （４）新規特典の開発

【会員数状況】

（単位：人）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 （見込）	平成 27 年度 （目標）
会員数	226	169	164	200	200

2. 講座事業（公益目的事業3）

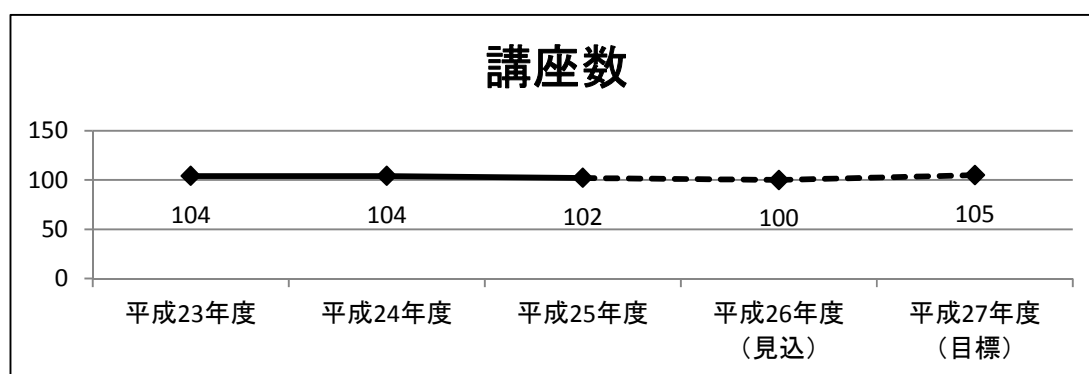
①レギュラー講座

地域のニーズを捉え、講座内容の充実を図り、講座数及び受講者数の増に努めます。そのための取り組みとして、定年退職を迎えた団塊世代の方向けの講座を実施します。具体的には、身体を健康に保つための運動系講座や、定年後の新たな楽しみとしての趣味系講座の充実を図ります。また、既存講座の積極的なPRを行い、受講者数の増を図ります。

【数値目標 105 講座】

（単位：講座／月平均）

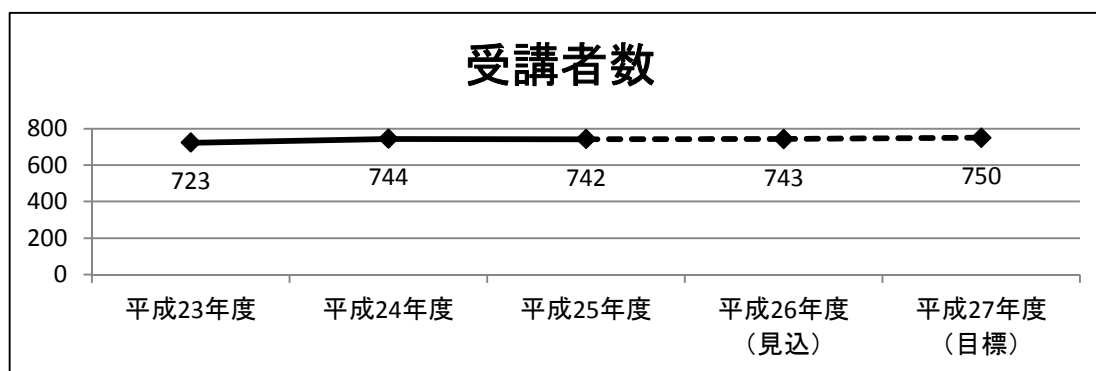
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 （見込）	平成 27 年度 （目標）
講座数	104	104	102	100	105
前年対比	107.8%	100.0%	98.1%	98.0%	104.9%



【数値目標 750 人】

（単位：人／月平均）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 （見込）	平成 27 年度 （目標）
受講者数	723	744	742	743	750
前年対比	104.7%	103.0%	99.7%	100.1%	100.9%



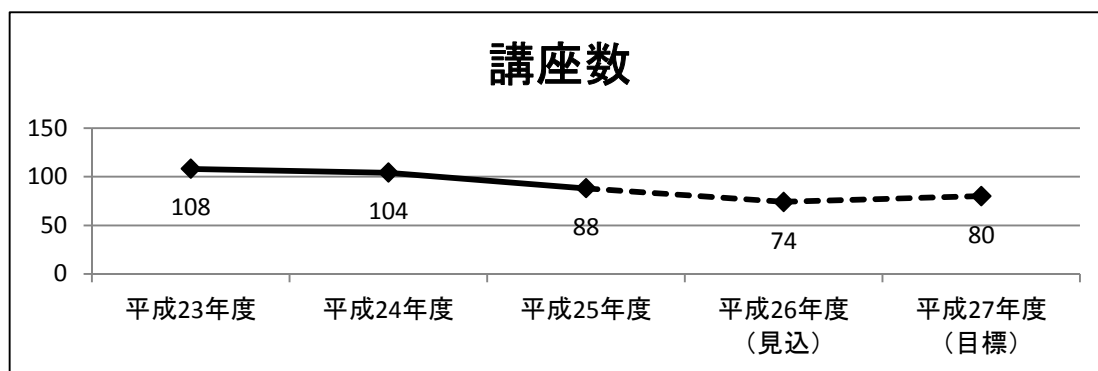
②スポット講座・有料体験会

話題性のある新規スポット講座を企画・実施します。これまで定例的に実施してきたスポット講座は、受講者数が減少傾向にあるため、リニューアルまたは休講とし、積極的に新たなスポット講座を開拓していきます。また、有料体験会はレギュラー講座への受講へとつなげるため、主に受講生5名未満の講座を対象として体験会の実施を企画します。

【数値目標 80 講座】

(単位：講座)

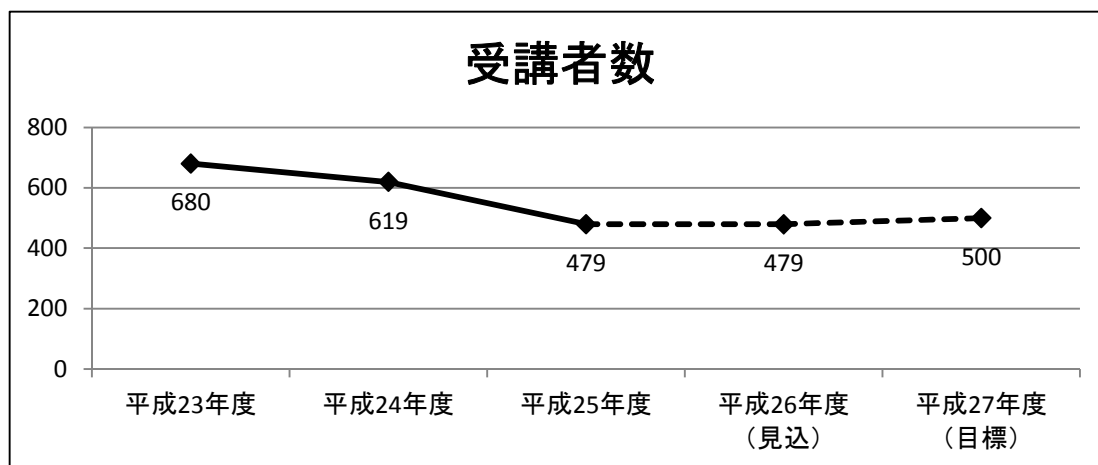
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (見込)	平成 27 年度 (目標)
講座数	108	104	88	74	80
前年対比	108.0%	96.3%	84.6%	84.0%	108.2%



【数値目標 500 人】

(単位：人)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (見込)	平成 27 年度 (目標)
受講者数	680	619	479	479	500
前年対比	91.3%	91.0%	77.4%	100.0%	104.4%



③その他の講座事業

他のカルチャーセンターにはない、ホールやギャラリーをもつ複合文化施設で運営するカルチャーの特色を活かし、日頃の講座活動での”学びの成果“を発表する講座事業などを展開します。

事業名	開催日・会場・料金	内容	目標数
第 22 回 サンリーアイ文化講座 文化祭 スプリングフェスタ Happy カルチャー！2016	平成 28 年 3 月 4 日（金） ～3 月 6 日（日） 各施設	一年間の受講成果の集大成として発表の場を提供し、文化講座の充実・周知の促進を図ることを目的としている。 ※参加 100 講座 予定※ ◇作品展示会 ◇生花展示会 ◇体験会 ◇呈茶席 ◇即売会 ◇芸能祭	8,300 人
サンリーアイ カルチャーフェスタ	平成 27 年 4 月 ～平成 28 年 3 月 ハミングホール 2 回 小ホール 2 回 展示コーナー・ギャラリー 5 回	講師・受講生に発表の機会と場所を提供し、文化講座の充実・周知の促進を図ることを目的としている。	2,500 人
サンリーアイ文化講座 視察研修	平成 27 年 秋 周辺地域 講 師 1,000 円 受講生 3,000 円 ご家族 5,000 円	普段の講座とは異なる体験により、新しい価値観の発見と講座内のコミュニケーションを図ることを目的としている。	180 人
サンリーアイ伝統文化 こども教室	平成 27 年 4 月 ～平成 28 年 3 月 203・204 会議室 1 回	未来を担う子どもたちに伝統文化を継承していくことを目的としている。 ◇いけばな ◇茶道（表千家）	30 人
計) 12 件			11,010 人

3. 図書事業（公益目的事業4）

図書館の開館日は295日を予定しています。（このうち5/25～5/29までは蔵書点検で特別休館、12/29～1/3までは年末休館日）。

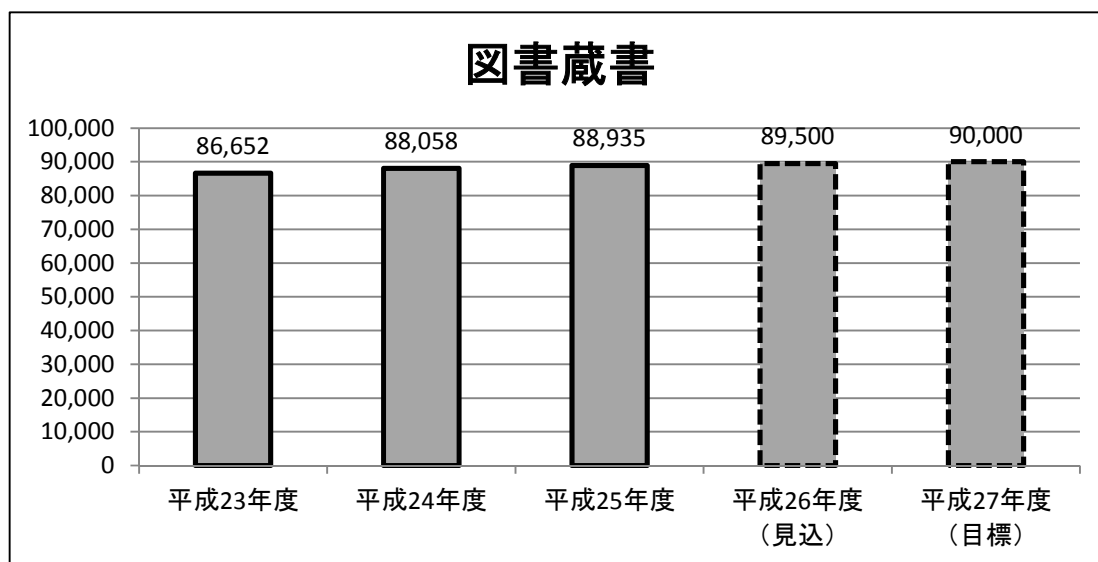
開館時間は、午前10時から午後6時までで7/21～8/31は午後8時まで開館時間を延長し、また7月、8月の月末整理日を開館し、サービスの向上に努めます。

平成27年3月31日迄の目標登録者数を9,800人とし、寄贈の受入を積極的に行いながら、蔵書数90,000冊を目指し、限られたスペースを効率的かつ効果的に活用した、図書資料等の配置を行います。

【図書蔵書数値目標 90,000冊】

（単位：冊）

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 （見込）	平成27年度 （目標）
一般書	63,489	63,836	63,937	64,550	64,800
児童書	22,317	22,781	23,454	23,400	23,600
YA書	846	1,441	1,544	1,550	1,600
合計	86,652	88,058	88,935	89,500	90,000
前年度比	103.2%	101.6%	101.0%	100.6%	100.6%



①図書貸出・情報提供事業

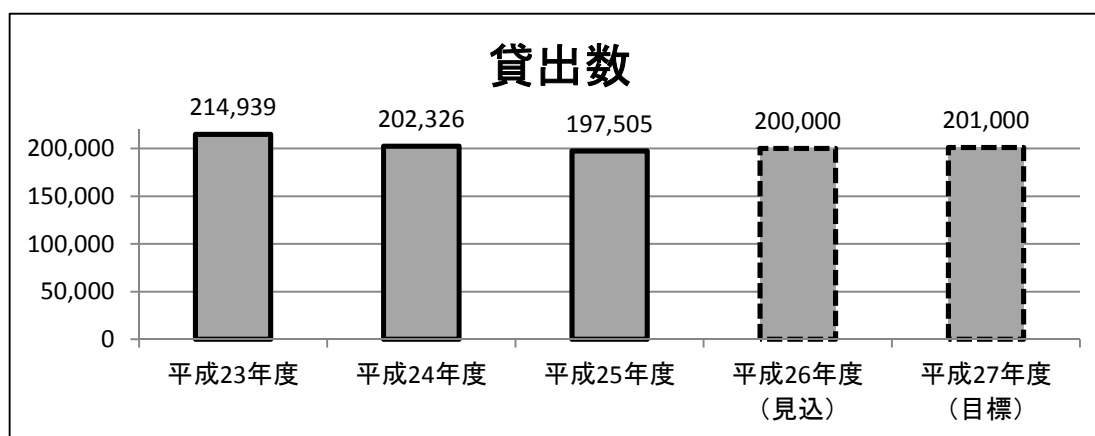
公民館や情報プラザ人の駅等でも資料の貸出返却ができる図書館ネットワークシステムの充実やインターネットによる蔵書検索、予約等サービスの周知いたします。新たなサービスとして登録者に対し、おすすめの新刊図書を電子メール等で情報提供サービスを行います。

また、複合会館の利点を活かし、館内で実施する各種事業、講座はもちろんフィットネスジムでは健康づくりに関連した特集を企画し、多様な情報を発信することで来館者の知的好奇心を喚起し、年間貸出冊数 201,000 冊を目指します。

【数値目標 201,000 冊】

(単位：冊)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (見込)	平成 27 年度 (目標)
貸出数	214,939	202,326	197,505	200,000	201,000
前年対比	102.2%	94.1%	97.6%	101.3%	100.5%



②読書、図書館活性化事業

地域の子どもの「読書離れ」に取り組むために、幼児期から本に親しむことができる読書習慣のきっかけづくりとして、図書館支援ボランティアとの協働による図書館まつりや読書普及に向けた事業を行います。

図書支援ボランティアの募集を継続し組織の活性化をおこない、技術向上に向けた研修を取り入れ、活動の充実を図ります。

事業名	開催日・会場・料金	内容	目標数
子ども読書の日記念 折り紙教室	平成 27 年 4 月 19 日（日） 視聴覚室 無料	簡単に楽しめる折り紙を折る。	30 人
ボランティア研修会	平成 27 年 7 月 視聴覚室 無料	図書館で活動しているボランティアの技術向上を目的に、研修をする。	20 人
夏休みDVD上映会	平成 27 年 7 月 21 日（火） 7 月 23 日（木）、7 月 28 日（火）、7 月 30 日（木） 視聴覚室 無料	図書館を親しみやすいものとしてPRするため、夏休み期間中の子ども達を対象に、アニメ上映会をする。	80 人 (20 人 × 4 回)
夏休み工作教室	平成 27 年 7 月 26 日（日） 視聴覚室 無料	夏休みの自由工作として簡単に楽しめる工作教室を行う。	30 人
スタンプラリー	平成 27 年 7 月 2 日（木） ～8 月 31 日（月） 図書館内 無料	図書館利用者の増加と読書普及。自己の読書量をカウントすることで読書習慣を意識づける。	400 人
小、中学生読書感想文、 感想画の募集と展示	平成 27 年 11 月 5 日（木） ～8 日（日） 展示コーナー 無料	町内小、中学校の生徒から応募のあった読書感想文、感想画を展示。	120 人 (4 日間 × 30 人)

西日本読書感想画コンクール優秀作品展示	平成 27 年 11 月 21 日(土)～29 日(日) 展示コーナー 無料	九州、山口の小、中、高校生が描いた読書感想画の優秀作品を展示して読書普及を図る。	450 人 (9 日間 ×50 人)
図書館まつり 絵本原画展	平成 27 年 11 月 5 日(木)～8 日(日) ギャラリー 無料	絵本作家の原画を展示。	200 人 (4 日間 ×50 人)
図書館まつり 雑誌・本のリサイクル	平成 27 年 11 月 5 日(木)、6 日(金) 展示コーナー 無料	保存期間の過ぎた雑誌と寄贈された本の一部を、ボランティア虹の会によって希望者に配布。	400 人 5 日…330 人 6 日…70 人
図書館まつり ・布の絵本であそぼう！ ・布のおもちゃをつくってみよう	平成 27 年 11 月 7 日(土)、8 日(日) 展示コーナー 無料	ボランティアひまわり、さつきの会が作成した作品の展示。さつきの会による布のおもちゃの講習	200 人 (2 日間 ×100 人)
図書館まつり おはなし会スペシャル第 1 弾	平成 27 年 11 月 7 日(土) 小ホール 無料	ボランティア「なしのはな」によるおはなし会 読書講演会	50 人
図書館まつり おはなし会スペシャル第 2 弾	平成 27 年 11 月 8 日(日) 小ホール 無料	ボランティアくすの木会のブラックシアター 劇団ぱれっと 人形芝居	150 人
ボランティア懇談会	平成 28 年 2 月 18 日(木) 視聴覚室 無料	現在活動中のボランティアの活動の活性化、及び各ボランティアの連携を図る。	35 人
子ども図書館員	平成 28 年 3 月 27 日(土)、28 日(日) 図書館内 無料	小学生による本等の貸出や返却、配架等の体験実習。	16 人 (2 日間 ×8 人)

読書会	毎月最終金曜日 会議室 無料	同一の図書を読み、その感想を述べ合う。	11 人
職場体験・インターンシップ 受入	平成 27 年 9 月 図書館内 無料	図書館の仕事を実際に体験 することで図書館に親し み、理解をし、読書への興 味をもってもらう。	8 人
おはなし会	毎月第 2・4 土曜日、 毎週日曜日	読み聞かせボランティア、 図書館職員による絵本の読 み聞かせ、紙芝居等。	490 人 (6.5 人 ×75 回)
計) 17 件			2,690 人

4. 施設管理運営（公益目的事業6、収益事業等2、法人会計）

地域住民に「活動・交流の場の提供」を行い、地域住民が気軽に行えるコミュニティスペースの提供に寄与する事業です。

組織運営面については、平成27年度の定時評議員会で役員及び評議員の任期が満了となるため、新たな役員や評議員に対して、理事会・評議員会を適宜開催し責任ある説明を行います。また、新たな役員及び評議員に対して、より一層の見聞を広めていただくための視察研修を計画します。

職員においては、社内研修を定期的に行うとともに、町や公文協等の研修会にも積極的に参加し、資質の向上を図ります。

施設管理面については、平成27年度においても施設の長寿命化を図るため「中長期営繕計画」に沿った大規模改修等を行います。また、定期的な保守点検等は専門業者に委託し適正な維持管理を行ない、常に快適に、かつ安全に利用できる施設の提供ができるよう努めます。ソフト面においては職員の安全管理に対する意識の向上を図るため、より実践的な避難誘導訓練等を実施することで危機管理能力の意識を高めます。

【利用者数及び利用率について】

目標の利用者数及び利用率を達成するために、以下の対策に取り組めます。

（1）新規及び過去の利用者等への誘致活動

今年度も、近隣の企業に対しての積極的な営業を行います。また、過去の利用者に対して、DMを送付するなどして利用を促進します。

（2）リピーターの確保

利用者に対して、お礼状を出すなど民間的な発想で、きめ細かな対応を行います。また職員の接客力及び渉外力の向上を図ることにより、利用者の満足度を高め、リピーターにつなげます。

（3）館内外の共有の場の整備

施設を常に快適に、かつ安全に利用できるよう、子ども広場などの共有の場の改善等の検証を行うとともに、掲示物の見直しを図ることできれいで明るい環境を維持します。

（4）利用者への意見等の収集

利用者の意見や要望に耳を傾け施設運営に反映できるよう努力し、利用者に対するサービス向上に努めます。

（5）職員研修の実施

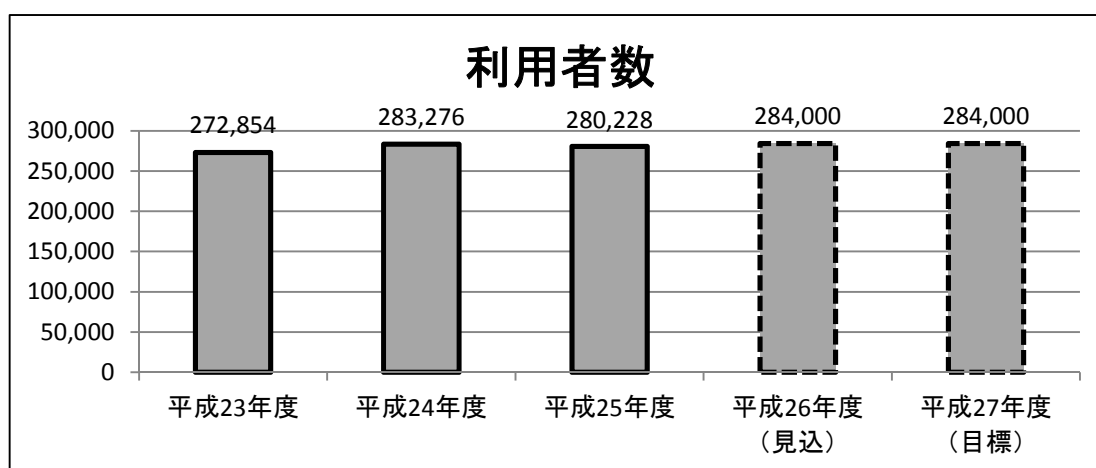
職員研修を実施することで、意識改革を進め、職員一人ひとりが自覚と積極的な行動を取れるプロ意識の高い職員の育成に努めます。

①利用者数

【数値目標 284,000 人】

(単位：人)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度 (見込)	平成 27 年度 (目標)
利用者数	272,854	283,276	280,228	284,000	284,000
前年対比	100.0%	103.8%	98.9%	101.3%	100.0%



②利用率

【数値目標 62% (ウェーブアリーナ 100%、ハミングホール 65%、小ホール 95%)】

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年 (見込)	平成 27 年 (目標)
ウェーブアリーナ	100%	100%	100%	100%	100%
ハミングホール	69%	66%	63%	65%	65%
小ホール	93%	94%	93%	95%	95%
全体	61%	62%	61%	62%	62%